

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・1年次	授業方法	実習、講義	講義時期	通年
授業科目	総合学習(HR, 各種行事)	担当者	長嶺 博己、渡具知 斉、他	科目必修区分	必修
授業概要	「豊かな人間性」を育むため、学内外の様々な授業や行事を通して協調性・思いやり・気配り・積極性・感謝など自身の体験を通して身につける科目として位置付ける。				
到達目標	学生クレド(感謝、感動、思いやり・気配り、明朗、挨拶、素直、プラス思考、チャレンジ精神、永久戦力)に基づいて行動することが出来る。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	【入学オリエンテーション】 目標設定、手引きの読み合わせ、講話、リレーションなど			20
	2	【性教育】 助産師の方を招いての講話			2
	3	【金融啓発】 外部講師を招いての講和			2
	4	【長期休み前のホームルーム】 長期休みに入る前の伝達事項			7
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				31
教科書	KBC学園 志学 I・II				
時間外学習	各授業・行事における事前準備や調べ学習を指示。前後の各実施委員会活動				
成績評価方法	授業態度30pt、毎回の授業レポート70pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	通年
授業科目	コンピュータ概論(コンピュータ概論)	担当者	伊禮 利一	科目必修区分	必修
授業概要	コンピュータのハード技術やソフト技術に関する知識を初歩から学び、ICT (IT) 技術者として働くための専門知識を学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・サーティファイ情報処理検定(3級、2級)に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・目的に応じてコンピュータの活用ができる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	【コンピュータ概論:1章】コンピュータの基礎知識			8
	2	【2章】コンピュータの数値表現(情報表現、基礎変換、補数、数値表現など)			10
	3	【3章】ハードウェア(プロセッサ、論理演算と論理回路、記憶装置など)			8
	4	【4章】システムの構要素(システムの評価指標、システムの構成、高信頼化技)			10
	5	【5章】ソフトウェア(ソフトウェアの分類とOS)			8
	6	【6章】マルチメディア			6
	7	【7章】AI(人工知能)			4
	8	【8章】アルゴリズムとデータ構造			6
	9	サーティファイ情報処理技術者試験3級検定対策(試験時間・解説含む)			12
	10	サーティファイ情報処理技術者試験2級1部検定対策(試験時間・解説含む)			16
	11	サーティファイ情報処理技術者試験2級2部検定対策(試験時間・解説含む)			8
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				96
教科書	コンピュータ概論(ウィネット) 情報処理検定問題集(3級・2級)				
時間外学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。 実習課題や演習問題集にて自主学习。				
成績評価方法	授業出席20pt、単元テスト20pt、期末テスト30pt、検定試験得点30pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	通年
授業科目	コンピュータ概論(システム開発技術)	担当者	渡具知 齊	科目必修区分	必修
授業概要	コンピュータにおける、データベース、ネットワーク、セキュリティに関する知識を初歩から学び、ICT(IT)技術者として働くための専門知識を学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・サーティファイ情報処理検定2級に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・目的に応じてコンピュータの活用ができる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	【システム開発技術:1章】データベース(データのモデル化、設計など)			23
	2	【2章】ネットワーク(ネットワーク方式、OSI基本参照モデルなど)			16
	3	【3章】情報セキュリティ(情報セキュリティ、暗号化技術など)			17
	4	サーティファイ情報処理技術者試験3級検定対策(試験時間・解説含む)			14
	5	サーティファイ情報処理技術者試験2級1部検定対策(試験時間・解説含む)			10
	6	サーティファイ情報処理技術者試験2級2部検定対策(試験時間・解説含む)			10
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				90
教科書	システム開発技術(ウィネット) 情報処理検定問題集(3級・2級)				
時間外学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。 実習課題や演習問題集にて自主学習。				
成績評価方法	授業出席20pt、単元テスト20pt、期末テスト30pt、検定試験得点30pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	通年
授業科目	コンピュータ概論(マネジメントと情報化)	担当者	赤嶺 和人	科目必修区分	必修
授業概要	ストラテジおよびマネジメント分野の基本的かつ普遍的な知識の習得を目的とする。 企業における経営戦略と担当業務の関連性、システム開発のライフサイクル、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメントおよびシステム監査などの知識を学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・サーティファイ情報処理検定3級・2級に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・職業人としてIT(情報技術)の基本的な知識を活用し、上位者とのコミュニケーション、業務分析と解析およびシステム化の支援を行う事ができる。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション:科目概要、目的、目標、シラバス、テキスト解説			2
	2	第1章 システム開発とマネジメント			20
	3	第2章 サービスマネジメントとシステム戦略			6
	4	第3章 企業と経営戦略			8
	5	第4章 OR・IE			4
	6	第5章 企業会計			2
	7	第6章 法務と標準化			5
	8	サーティファイ情報処理技術者試験3級検定対策(試験時間・解説含む)			15
	9	サーティファイ情報処理技術者試験2級1部検定対策(試験時間・解説含む)			15
	10	サーティファイ情報処理技術者試験2級2部検定対策(試験時間・解説含む)			15
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				92
教科書	マネジメントと情報化(ウィネット) サーティファイ情報処理検定問題集(3級・2級) フィジカル版・デジタル版				
時間外学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。 実習課題や演習問題集にて自主学習。				
成績評価方法	授業態度20pt、単元テスト20pt、期末試験30pt、検定試験30pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・1年次	授業方法	講義、演習	講義時期	通年
授業科目	プログラム設計	担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	必修
授業概要	プログラムによってコンピュータ処理の流れを記述できるように、基本的なデータ処理のためのアルゴリズムを学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・流れ図の基本パターン、繰り返し処理、整数の計算、探索処理、整列処理を理解できる。 ・疑似言語に処理の流れを理解でき、トレースできる。 ・ファイル処理、文字列操作、ビット操作の処理が理解できる。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	第1章 アルゴリズム入門	アルゴリズムとは データ型 領域の概念 基本構造		5
	2	第2章 流れ図の基本パターン	流れ図 連続型 選択型 反復型		5
	3	第4章 計算のアルゴリズム	合計平均 ベキ乗計算 乗算除算 最大最小抽出 練習問題		6
	4	第6章 配列操作	1次元配列 配列の異動 2次元配列 練習問題		6
	5	第3章 疑似言語の基本パターン	疑似言語とは 疑似言語の表記法		5
	6		疑似言語の言語部分 疑似言語の処理部分 練習問題		5
	7	第5章 手続・関数	手続・関数とは 変数のスコープ 引数と戻り値 練習問題		6
	8	第7章 探索のアルゴリズム	探索処理とは 線形探索 線形探索 ブロック探索		6
	9		2分探索 ハッシュ探索 練習問題		6
	10	第8章 整列のアルゴリズム	整列処理とは 基本選択法 基本交換法 基本挿入法		8
	11		その他の整列方法 練習問題		4
	12	第9章 オブジェクト指向プログラミングの基本パターン	オブジェクト指向とは		4
	13		オブジェクトとクラス オーバードーズ 継承 練習問題		4
	14	第10章 データ構造	データ構造の概要 配列 リスト		7
	15		スタックとキュー 木構造 練習問題		7
	16	第11章 実践アルゴリズム	基数変換 経路選択 文字列探索 順位付け		5
	17		文字列の比較(レーベンシュタイン距離) 逆ポーランド記法		5
	18	後期期末テスト			2
	19				
20					
	合計時間数				96
教科書	情報処理試験合格へのパスポート アルゴリズムとデータ構造(ウィネット)				
時間外学習	復習:勉強した内容をその日のうちに再度復習 ※30分程度				
成績評価方法	出席評価点10pt チェックテスト50pt 課題提出30pt 授業態度10pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・1年次	授業方法	講義・演習・実習	講義時期	通年
授業科目	プログラミング言語 I (Java)	担当者	喜友名 航	科目必修区分	必修
授業概要	Java言語の基本文法から、オブジェクト指向プログラミングを理解し、実習では練習問題を通してプログラミングスキルを身につける。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なソースコードを読むことができる。 ・基本的なプログラミングスキルが身につくので、簡易プログラムが作成できる。 ・サーティファイ主催Java言語プログラミング能力認定試験2,3級が取得できる。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション(授業の概要説明(進捗・評価など)、実習環境の設定と動作確認)			2
	2	Javaとオブジェクト指向			1
	3	Javaの基礎(プログラムの構造、演算子、変数、標準入力、型変換、演習)			6
	4	分岐(条件分岐とは、if文、switch文、比較演算子、論理演算子、演習)			8
	5	繰り返し(for文、while文、do-while文、多重ループ、繰り返しの応用、演習)			8
	6	総合演習(基本文法を用いたプログラム作成、コマンドライン引数など)			6
	7	オブジェクト指向の基本的概念(クラス、メソッド、メンバ変数、インスタンス、継承、カプセル化)			6
	8	クラスライブラリ(Stringクラス、StringBufferクラス、Mathクラス、Integerクラスなど)			8
	9	検定対策(Java言語3級対策、模擬試験の実施、解説)			12
	10	クラスとメソッド(クラス、インスタンス、メソッドの定義、オーバーロード、ジェネリクス、演習)			7
	11	カプセル化(カプセル化とは、アクセス制限、コンストラクタ、パッケージ管理、演習)			8
	12	クラスの継承(継承とは、スーパークラス、サブクラス、抽象クラス、抽象メソッド、ポリモフィズム、演習)			9
	13	クラスの応用(インタフェースとは、インタフェースの定義と実装、内部クラス、ローカルクラス、ラムダ式)			9
	14	例外クラス(エラーとは、try-catch文、finally文、throw文、throwsキーワード、演習)			8
	15	クラスライブラリ(文字列、日付、正規表現、数値の操作、列挙型、演習)			9
	16	コレクションフレームワーク(コレクションフレームワークとは、List、Set、Map型、API)			9
	17	ファイル操作(ファイル操作の基本、ファイルの入出力とストリーム、ファイルの読み書き)			8
	18	マルチスレッド(マルチスレッドとは、Threadクラス、Runnableインターフェース、演習)			8
	19	総合演習(クラスの応用など)			10
	20	検定対策(Java言語2級対策、模擬試験の実施、解説)			16
	合計時間数				158
教科書	ウイネット Java実践プログラミング、Javaプログラミング能力認定試験2, 3級過去問題集				
時間外学習	授業内容の復習				
	paizaラーニング(新Java入門を用いて復習)				
成績評価方法	授業態度20pt、章末テスト30pt、評価試験20pt、検定試験得点30pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	実務家	備考			
	実務経験紹介	IT業界(システムエンジニア歴含む)4年			

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	就職実務	担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	必修
授業概要	社会人にとって基本的な素養を知り、基礎スキルの一部について学習・演習する				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動に必要なことを学び、社会でも役立つことを理解する ・ワークを通し、就職活動に必要なスキルの基礎を身につける 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	1. 導入			1
	2	2. 良い習慣を身につける			1
	3	3. コミュニケーション力を高める			3
	4	4. 他者理解			3
	5	5. 自己理解			2
	6	6. 思いを言語化する			2
	7	7. スケジュール管理			2
	8	8. 情報収集力			2
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				16
教科書	KBC学園 就職活動の進め方				
時間外学習					
成績評価方法	授業態度30pt 取り組み姿勢70p				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
	実務経験紹介				

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・1年次	授業方法	実習、講義、演習	講義時期	前期
授業科目	ビジネスマナー I	担当者	藤吉 綾子	科目必修区分	必修
授業概要	第一印象の重要性を理解し、好感の持てる話し方を身につける				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・笑顔や身だしなみなど第一印象の重要性を理解する ・立場の違いを考えた言葉遣いができる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	ビジネスマナーとは(社会人として求められる資質、あいさつ・身だしなみの重要			4
	2	第一印象の重要性(立つ姿勢、お辞儀の仕方、語先後礼、表情訓練、発声練習			2
	3	話の仕方、聞き方のポイントと注意点(クッション言葉、前向きな会話)			2
	4	言葉遣い(敬語の種類と使い分け)			2
	5	【練習問題】			
	6	尊敬語と謙譲語の混同			2
	7	二重敬語			1
	8	【確認テスト】			2
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				15
教科書	実践ビジネスマナー				
時間外学習	なし				
成績評価方法	出席率(25pt)・授業態度(25pt)・提出物(25pt)・期末テスト(25pt)				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・1年次	授業方法	実習、講義	講義時期	前期
授業科目	志学 I	担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	必修
授業概要	キャリア教育の実現の鍵は専門能力および発揮できる力(人間性)であることを知り、永久戦力を目指す上での自己のあり方を考える。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・相手を尊重した行動ができる ・相手の意見を傾聴し、受け入れることができる ・心を込めた挨拶ができる ・感謝の気持ちを意識した行動がとれる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	第1章:感謝			2
	2	第2章:感動			2
	3	第3章:思いやり・気くばり			2
	4	第4章:明朗			2
	5	第5章:挨拶			2
	6	第6章:素直			2
	7	第7章:プラス思考			2
	8	第8章:チャレンジ精神			2
	9	第9章:永久戦力			2
	10	志学 I まとめ、振り返り			2
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				20
教科書	KBC学園 志学 I・II				
時間外学習	授業内の各種事例を深く掘り下げる。同様事例を独自に情報収集する				
成績評価方法	授業態度30pt、科目終了後の授業レポート70pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・1年次	授業方法	講義、演習、実習	講義時期	前期
授業科目	ITリテラシー実習	担当者	赤嶺達也・渡具知斉	科目必修区分	必修
授業概要	ビジネスにおいて必要不可欠なIT知識・パソコン操作を網羅し、実務に直結した知識・技術を習得する。また、kintoneによるノーコード・ローコードを活用したアプリ開発の基礎を習得する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームポジションでのタイピングができる ・効率的なパソコン操作ができる(ショートカットキーの使用やデータ整理を含む) ・Officeソフト(Excel・Word・PowerPoint)の基本操作ができる ・kintoneの基本操作を活用し、アンケート形式のフォームを作成できる。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	導入(授業スケジュール・内容・目的など)			1
	2	第1章 いまさら聞けないWindowsの基礎			4
	3	第2章 インターネットとメール			9
	4	第3章 レポートをまとめる(Word) ※課題演習含む			7
	5	第4章 データを整理する(Excel) ※課題演習含む			7
	6	第5章 スライド資料を作る(PowerPoint) ※課題演習含む			8
	7	第6章 情報の検索と資収集、整理 ※課題演習含む			8
	8	kintone※基本操作の部分まで			40
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				84
教科書	学生のためのアカデミック情報リテラシー Office2016対応 noa出版				
時間外学習	授業時間内で終わらなかった実習課題・演習問題				
成績評価方法	課題提出状況20pt 課題完成度20pt レポート20pt 入力スピード20pt 授業態度20pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
	実務経験紹介				

シラバス

令和 5 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・1年次	授業方法	講義・演習・実習	講義時期	後期
授業科目	WEB開発実習(HTML)	担当者	與儀 和智	科目必修区分	必修
授業概要	Webサイトを作成する際に必修スキルであるHTML5・CSS3の基礎的な知識と技術を学習し、簡単なWebサイトを作成する。				
到達目標	Webのしくみを理解し、HTML5をマークアップすることができる。 また、CSSを用いてHTMLの構造を維持しつつ、Webページのデザインやレイアウトを表現することができる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	【Webサイト作成の事前準備】			2
	2	【HTMLの基本】			5
	3	【CSSの基本】			5
	4	【Webサイトの作成】			5
	5	【レスポンス対応】			5
	6	【Webサイトの集客】			5
	7	【Webサイトの公開】			5
	8	【Webクリエイター能力認定試験 スタンダード受験に向けて】			20
	9	【Bootstrap5の特徴と導入】			8
	10	【グリッドシステムを利用したページレイアウト】			8
	11	【コンテンツの書式設定】			8
	12	【Bootstrapを利用したWeb制作】 制作課題			9
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				85
教科書	HTML&CSSの教科書、Webクリエイター能力認定試験スタンダード問題集、Bootstrap4ファーストガイド				
時間外学習	時間内に完成できなかった課題の実装・提出 検定合格基準に達していない学生への補講対応				
成績評価方法	授業態度20pt、課題提出30pt、出席率20pt、検定取得状況30pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	セキュリティ演習	担当者	山下 修	科目必修区分	必修
授業概要	<p>下期の国家試験「情報セキュリティマネジメント試験」合格に向けて試験対策を実施する。情報セキュリティマネジメント試験対策としては、模擬問題の演習を元に各分野の専門知識・技術を身につける。</p> <p>また、対策問題だけでなく、セキュリティに関する動画視聴を行い、グループワークによる意識向上を図るとともに、セキュリティマネジメント試験に関連知識についても学習する。</p>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークを通してセキュリティに関する意識向上および知識定着。 ・情報セキュリティマネジメント試験の合格。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション(授業目的・カリキュラム説明など)			1
	2	演習:動画視聴およびグループワーク①			2
	3	演習:今年度(下期対策)試験(午前)①			2
	4	講義:今年度(下期対策)試験解説(午前)①			4
	5	演習:動画視聴およびグループワーク②			2
	6	演習:今年度(下期対策)試験(午前)②			2
	7	講義:今年度(下期対策)試験解説(午前)②			4
	8	演習:動画視聴およびグループワーク③			2
	9	演習:今年度(下期対策)試験(午前)③			2
	10	講義:今年度(下期対策)試験解説(午前)③			4
	11	演習:動画視聴およびグループワーク④			2
	12	演習:今年度(下期対策)試験(午前)④			2
	13	講義:今年度(下期対策)試験解説(午前)④			4
	14	演習:今年度(下期対策)試験(午前)			3
	15	講義:今年度(下期対策)試験解説(午前)			5
	16	演習:今年度(下期対策)試験(午後)			11
	17	講義:今年度(下期対策)試験解説(午後)			20
	18	演習:情報処理技術者試験(セキュリティ分野)試験対策(午後)			6
	19	講義:情報処理技術者試験(セキュリティ分野)試験解説(午後)			12
	20				
	合計時間数				90
教科書	出るとこだけ！情報セキュリティマネジメント テキスト&問題集 2023年版、IPAサイト				
時間外学習	試験学習サイトの使用				
成績評価方法	授業態度20pt、課題提出状況40pt、期末テスト40pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・2年次	授業方法	実習、講義、演習	講義時期	通年
授業科目	データベース入門	担当者	今頭 翔太	科目必修区分	必修
授業概要	PostgreSQLデータベースを使って、リレーショナルデータベース(RDBMS)の運用管理やRDBMSアクセスするための標準言語であるSQL言語の書き方を学ぶ。基本的な運用管理コマンドやバックアップ方法、データ操作文やデータ定義文、トランザクション管理の命令を学習する。PostgreSQLを使った実習を通じて、実践的な学習を行う。				
到達目標	1. PostgreSQLのコマンドとSQLを使えるようになる 2. OSS-DB Silver の問題が解けるようになる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			1
	2	データベースの環境構築			2
	3	SQLによるデータベースの操作『基礎編』			6
	4	SQLによるデータベースの操作『応用編』			6
	5	データ型			3
	6	データベース定義の応用			3
	7	基礎編・演習			3
	8	1章・オープンソースデータベースの一般的特徴			1
	9	2章・データベースの基礎知識			5
	10	3章・インストール			6
	11	4章・標準付属ツール			6
	12	5章・設定ファイル			9
	13	6章・バックアップとリストア			7
	14	7章・基本的な運用管理			7
	15	8章・SQLとオブジェクト			8
	16	9章・組込関数と演算子			5
	17	10章・トランザクション			8
	18	試験対策			24
	19				
	20				
	合計時間数			110	
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンソースデータベース標準教科書 ・OSS教科書OSS-DB Silver ・徹底攻略OSS-DB Silver問題集 ・web問題集Ping-t 				
時間外学習	オンライン教材(Paizaラーニング)による自主学習環境を提供				
成績評価方法	授業態度:15pt 実習課題:40pt 確認テスト:20pt 本試験:25pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	演習、講義	講義時期	前期
授業科目	選択科目実習(ネットワーク)	担当者	大城 全揮	科目必修区分	選択
授業概要	ネットワーク機器を利用し構築技術を体系的に学習することで、ネットワークエンジニアとしての知識・技術を学習するコース。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク技術の概要説明が出来る様になる。 ・中・小規模のネットワーク構築が出来る。 ・ネットワーク構築する際のトラブルシューティングが出来る。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション:講座内容の説明やシラバス説明			1
	2	実習環境構築			2
	3	ネットワークの基礎			15
	4	LANスイッチングの基礎			15
	5	スイッチ設定実習			12
	6	ルーティングの基礎			15
	7	ルーター設定実習			12
	8	ネットワーク構築実習			13
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				85
教科書	自作教材				
時間外学習	シミュレーションソフトによる自己学習				
成績評価方法	授業態度10pt、課題提出30pt、期末試験60pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
	実務経験紹介				

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	演習、講義	講義時期	前期
授業科目	選択科目実習(セキュリティ)	担当者	山口 雅樹	科目必修区分	選択
授業概要	プラットフォーム・Webアプリケーションの脆弱性を理解し、ツールを用いて対象の脆弱性を検出できる脆弱性診断士の育成を目的とする。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> プラットフォームの脆弱性とその対策方法を説明することが出来る Webアプリケーションの脆弱性とその対策方法を説明することが出来る 脆弱性診断ツールの基本操作を理解し、脆弱性を検出することが出来る 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	ガイダンス、脆弱性ガイドライン説明、各種セキュリティ資格紹介			5
	2	HTTP/ネットワーク基礎			5
	3	WEBアプリケーション脆弱性説明とXSS実習			5
	4	SQLインジェクション実習			5
	5	CSRF実習			5
	6	その他脆弱性実習			5
	7	脆弱性診断と結果報告			5
	8	ここまでの振り返り（第3回から第6回までの実習のおさらい）			5
	9	Web診断実習 (BURP SUITE)			5
	10	Web診断実習 (OWASP ZAP)			5
	11	診断報告書の作成と法令			5
	12	Web診断実習 振り返りと課題提出準備			5
	13	課題提出と評価			5
	14	プラットフォーム診断1			5
	15	プラットフォーム診断2			5
	16	プラットフォーム診断3			5
	17	課題提出と評価			5
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				85
教科書	Webセキュリティ担当者のための脆弱性診断スタートガイド 第2版 上野宣				
時間外学習	オンデマンド教材(Udemy)				
成績評価方法	授業態度 20pt、課題提出 40pt、評価試験 40pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	演習、講義	講義時期	前期
授業科目	選択科目実習(レゴロボ)	担当者	大城 政邦	科目必修区分	選択
授業概要	ScratchとC言語でLEGO Mindstorm EV3(レゴロボ)をプログラミングする実習を通し、ScratchとC言語の習得とハードウェアのプログラミングを理解する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> Scratchでプログラムを書けるようになる C言語でプログラムを書けるようになる EV3(レゴロボ)を設計したソフトウェア通りに動かせるようになる チームでの作業を通じてチームワークを身につける 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	環境構築			5
	2	C言語基礎(擬似言語との関連付け)			5
	3	C言語基礎(プログラム作成)			10
	4	EV3組立て、Scratch基礎			10
	5	EV3プログラミング(Scratch)			10
	6	EV3プログラミング(Scratch)、センサー活用			10
	7	EV3プログラミング(Scratch)、ライントレース			10
	8	C言語環境構築			5
	9	EV3プログラミング(C言語)、センサー活用			10
	10	EV3プログラミング(C言語)、ライントレース			10
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				85
教科書	EV3 Classroom プログラミングガイド ロボットで学ぶC言語 プログラミング基礎 独自資料				
時間外学習	課題の作成と提出 学校基準により4段階評価とする				
成績評価方法	授業態度40pt、課題提出60pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	演習、講義	講義時期	前期
授業科目	選択科目実習(プログラミング基礎)	担当者	赤嶺 達也	科目必修区分	選択
授業概要	プログラミングを一から勉強したい人向けのコース。 プログラム言語の基礎、文法などを実習を通して学習します。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎レベルの文法が読める。 ・簡易プログラム程度ならトレースできる。 ・サーティブアイJava2, 3級程度の問題が解ける。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション: 講座内容の説明やシラバス説明			1
	2	実習環境構築			2
	3	Javaプログラム作成手順・基礎知識			2
	4	リテラル			2
	5	変数とデータ型			4
	6	演算子			4
	7	基本文法1(条件分岐)			6
	8	基本文法2(繰返し)			6
	9	配列			6
	10	文字列(Stringクラス)			6
	11	メソッド作成			6
	12	mainメソッドと引数			6
	13	演習課題			34
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				85
教科書	自作教材				
時間外学習	paiza教材 (Java入門)				
成績評価方法	授業態度10pt、課題提出60pt、期末試験30pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	演習、講義	講義時期	前期
授業科目	選択科目実習(サーバ環境構築(実践))	担当者	山川 こゆき	科目必修区分	必修
授業概要	Linux(Ubuntu)で使われている便利なアプリケーションの中からいくつかをインストールし実際に活用します。また、フロントエンドからバックエンドまでの構築技術、公開サイトの試験運用で利用者のリサーチ分析を通して、一連の「Webサーバ構築および運用・マーケティングリサーチ・分析」まで実践的に学びます。				
到達目標	1. 汎用性の高いLinuxOSの環境設定ができる 2. ディストリビューションUbuntuのアプリケーションを理解し、操作できる 3. LinuxOSにおけるフロントエンドからバックエンドの構築・運用ができる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション:授業の概要・シラバス、環境構築(Ubuntu)、発表			5
	2	アプリケーションを使いこなす1:選定、設定、使用調査、分析、発表			5
	3	アプリケーションを使いこなす2:選定、設定、使用調査、分析、発表			5
	4	アプリケーションを使いこなす3:選定、設定、使用調査、分析、発表			5
	5	RHEL8 企業標準Linux:講義、導入、活用、分析、発表			5
	6	WSL:講義、導入、活用、分析、発表			10
	7	LinuxOSにおけるセキュリティの概要とローカルでの対策:研究、分析、発表			5
	8	目的別Linux環境構築:環境別調査、検証、分析、発表			5
	9	講義「ソサイエタル・マーケティング」とは、CSR活動とマーケティング調査・分析、発表			5
	10	Webサーバ構築 day1:概要説明、企画、VPS設定、進捗発表			5
	11	Webサーバ構築 day2:環境構築、検証、進捗発表			5
	12	Webサーバ構築 day3:環境構築、検証、進捗発表			5
	13	Webサーバ構築 day4:環境構築、検証、進捗発表			5
	14	Webサーバ構築 day5:環境構築、検証、進捗発表			5
	15	修了発表:環境構築・運用内容、成果物、市場調査等プレゼンテーション			10
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				85
教科書	<ul style="list-style-type: none"> 最短突破 LinuCレベル1 バージョン10.0 合格教本 (101試験,102試験対応) 日経Linux(一部抜粋) 日経Linux Linux活用大全(一部抜粋) 				
時間外学習	実習課題や演習問題の復習、実習に向けた教科書での自由演習				
成績評価方法	授業態度40pt、単元到達度40pt、修了発表20pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	演習、講義	講義時期	前期
授業科目	選択科目実習(チャレンジコース)	担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	選択
授業概要	学生個々で目標を設定し、独学(動画学習等含む)で目標を達成する				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 各自で設定した目標を達成するための手段およびスケジュールリングの習得 問題が起こった時の対処法、リスケジュールリングの習得 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	前期:オリエンテーション			1
	2	前期:目標の設定および進捗方法の確認			1
	3	前期:目標を進める			73
	4	前期:進捗率の確認			10
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				85
教科書					
時間外学習	各自目標を進める				
成績評価方法	授業態度60pt、課題達成率40pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科3年次以上	授業方法	演習、講義	講義時期	前期
授業科目	選択科目実習(データベース基礎)	担当者	今頭 翔太	科目必修区分	選択
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・OSS-DBの科目について、基礎からしっかり学びなおし、資格の再チャレンジを目指してもらおう。 ・再度学ぶことにより、基礎知識の定着を図る。 				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. PostgreSQLのコマンドとSQLを使えるようになる 2. OSS-DB Silver の問題が解けるようになる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			2
	2	データベースの環境構築			2
	3	1章・オープンソースデータベースの一般的特徴			1
	4	2章・データベースの基礎知識			6
	5	3章・インストール			6
	6	4章・標準付属ツール			6
	7	5章・設定ファイル			6
	8	6章・バックアップとリストア			6
	9	7章・基本的な運用管理			8
	10	8章・SQLとオブジェクト			10
	11	9章・組込関数と演算子			6
	12	10章・トランザクション			6
	13	試験対策			20
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				85
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・OSS教科書OSS-DB Silver ・徹底攻略OSS-DB Silver問題集 ・web問題集Ping-t 				
時間外学習	オンライン教材(Paizaラーニング)による自主学習環境を提供				
成績評価方法	授業態度:20pt 実習課題:50pt 評価テスト:30pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	演習、講義	講義時期	前期
授業科目	選択授業(ヒューマンスキル)	担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	選択
授業概要	ゲームやグループディスカッションを通し、社会人として必要なスキル(コミュニケーション能力、新アイデア創出)強化を図る。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ルール内での創意工夫、斬新な発想を生み出すことができる ・グループで活動しコミュニケーション能力を最大限に発揮できる ・自身の持つアイデア、考えを他者へわかりやすく伝えることができる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	グループディスカッション			7
	2	グループディスカッションワーク			10
	3	マンダラチャート作成			8
	4	ディベート			7
	5	コミュニケーション力強化			6
	6	社会人としての基礎知識(政治・経済など)			5
	7	リーダー育成			5
	8	プレゼン力強化			10
	9	プレゼン資料作成			10
	10	各項目振り返り			9
	11	プレゼンテーション			8
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				85
教科書	無し				
時間外学習	授業内の各種事例を深く掘り下げる。同様事例を独自に情報収集する				
成績評価方法	出席率15pt、授業態度15pt、科目終了後の授業レポート30pt、プレゼン評価40pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・2年次	授業方法	実習、講義、演習	講義時期	前期
授業科目	プログラミング言語Ⅲ(OCJ-P)	担当者	伊禮 利一	科目必修区分	必修
授業概要	Java言語の基本文法・オブジェクト指向プログラミング(クラス・インターフェース)を理解し、Oracle認定Javaプログラマ Bronze SE 11試験に向けて演習を含めた学習を行う。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> Java言語の基本文法について説明ができる。 オブジェクト指向プログラミングについて説明ができる。 「ラムダ式」「varによる変数宣言」「モジュール・システム」などの新機能について説明ができる。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	Java開発環境の整備			2
	2	【教科書】第1章 Javaの基礎			4
	3	【教科書】第2章 分岐			4
	4	【教科書】第3章 繰り返し			4
	5	【問題集】			2
	6	【教科書】第4章 クラスとメソッド			8
	7	【問題集】			2
	8	【教科書】第5章 カプセル化			6
	9	【問題集】			2
	10	【教科書】第6章 クラスの継承			5
	11	【問題集】			2
	12	【教科書】第7章 クラスの応用			5
	13	【問題集】			2
	14	【教科書】第8章 例外クラス			5
	15	【問題集】			2
	16	【教科書】第9章 クラスライブラリ			4
	17	【問題集】			2
	18	【教科書】第10章 コレクションフレームワーク			4
	19	【問題集】			2
	20	【教科書】第11章 ファイル操作			4
	21	【問題集】			2
	22	【教科書】第12章 マルチスレッド			2
	23	【問題集】			2
	24	OCJP 試験対策			3
	25	OCJP 模擬試験・解説①			4
	26	OCJP 模擬試験・解説②			4
	27	OCJP 本番試験			2
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				90
教科書	Java実践プログラミング(ウイネット) JavaプログラマBronze SE スピードマスター問題集				
時間外学習	オンライン教材(Paizaラーニング)による自主学習環境を提供				
成績評価方法	授業態度(20pt) 課題提出(20pt) 評価試験(30pt) 期末試験(20pt) 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・2年次	授業方法	実習、講義、演習	講義時期	前期
授業科目	システム構築技術 I (Linuc101)	担当者	山川 こゆき	科目必修区分	必修
授業概要	サーバ環境で用いられるUnixOSにおいて、市場で利用頻度が高いLinuxを講義および演習を通して理解する。Linux実習環境を通じて、コマンドをはじめ Linux の基本構成を学習する。コマンドを理解し操作できるようになる。2年次前期に実施される「Linucレベル1-101試験」に向けた基礎知識が理解でき、取得を目指す。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> Linux環境のインストールができる Linuxコマンドを理解し、操作できる LinuxOSにおける実習で環境構築および操作ができる Linucレベル1-101試験範囲の基礎知識が理解できる(2年次の試験対策・試験に備える) 				
授業計画	内 容				授業時間数
	講義				
	1	オリエンテーション:Linucレベル1 の概要、環境構築(仮想マシン)			4
	2	第3章:GNU&UNIXコマンド/第2章:Linux のインストールとパッケージ管理(一部)			4
	3	練習問題:スピードマスター問題演習(第2・3章)			4
	4	第1章:Linuxのインストールと仮想マシン・コンテナの利用			4
	5	練習問題:スピードマスター問題演習(第1章)			4
	6	第2章:ファイルとディレクトリの操作と管理			4
	7	練習問題:スピードマスター問題演習(第2章)			6
	8	第5章:ハードウェア、ディスク、パーティション、ファイルシステム			5
	9	練習問題:スピードマスター問題演習(第5章)			5
	10	第2章:Linux のインストールとパッケージ管理(差分)			5
	11	練習問題:Web演習問題「Ping-t」 実施と解説			5
	12	練習問題:問題演習「スピードマスター」 実施と解説(模擬試験)			5
	13	期末評価試験:後期評価試験			3
	14	模擬試験:Web演習問題「Ping-t」第1回～第3回 実施と解説			6
	15	本試験:LPI Japan レベル1-101試験			6
	実習				
	1	VirtualBox、ディストリビューションのインストールと設定			4
	2	ディストリビューション「CentOS7」のインストールと設定			4
	3	コンテナ「Docker」のインストールと設定・基本的操作			4
	4	Webサーバ「Apache」のインストールと設定・ネットワークの設定			4
	5	ネットワーク盗聴・パケットキャプチャ			4
	6				
	合計時間数				90
教科書	<ul style="list-style-type: none"> 最短突破 Linucレベル1 バージョン10.0 合格教本 (101試験,102試験対応) Linux教科書 Linucレベル1 スピードマスター問題集 Version10.0対応 (101,102試験対応) 				
時間外学習	実習課題や演習問題の復習、オンライン学習Ping-tを活用した資格試験受験に向けた自由演習				
成績評価方法	授業態度40pt、単元テスト20pt、期末評価試験20pt、本試験結果20pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・2年次	授業方法	講義、実習	講義時期	前期
授業科目	WEB開発実習(PHP)	担当者	今頭 翔太	科目必修区分	必修
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ PHPを用いたWebアプリケーション開発手法について学ぶ ・ PHPだけでなくHTMLやWeb関連技術などの基本を学習する 				
到達目標	1, PHPの基本を習得し、コードを読み解くことができる 2, PHP・MySQLを連携した、Webアプリケーションの作成ができる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			0.5
	2	①1章、心の準備編			0.5
	3	①2章、パソコン設定編			1.5
	4	①3章、プログラミング編			5.5
	5	①4章、データベース編			11
	6	②1章、いろいろ準備編			1
	7	②2章、スタッフ管理システムの作成			8
	8	②3章、商品管理システムの作成			7
	9	②4章、スタッフ専用ログイン認証ページの作成			4
	10	②5章、スキルアップ			4
	11	②6章、ショッピングカート機能の作成			6
	12	②7章、注文機能の作成			11
	13	②8章、Excelで注文管理			3
	14	②9章、会員機能の作成			4
	15	作品制作			13
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				80
教科書	①いきなりはじめるPHP入門 ②気づけばプロ並みPHP改訂版				
時間外学習	・オンライン学習教材(Paizaラーニング)				
成績評価方法	授業態度20pt、実習課題65pt、作品提出15pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次	授業方法	実習、講義	講義時期	前期
授業科目	開発実習(基礎)	担当者	屋良 朝也	科目必修区分	必修
授業概要	Java言語によるシステム開発を題材に各種演習課題の作成を通して、Webサーバーやデータベースを含むアプリケーションの仕組みやシステム開発下流工程でのプログラミング、コーディング、デバッグの技能を学び習得する。				
到達目標	1. Webアプリケーションの基本的な仕組みを理解する 2. Webサーバー及びデータベースを用いた簡単なWebアプリケーションの開発を習得する 3. 統合開発環境を用いたプログラムのコーディングとデバッグの技術を習得する				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	授業概要と授業実施前の準備			1
	2	プログラム開発環境インストール、設定、動作確認			4
	3	Java言語プログラムの基礎			6
	4	データベースソフトのインストール、設定、動作確認			4
	5	データベースアクセスプログラムの基礎			4
	6	デザインパターンDAO(データアクセスオブジェクト)とは			4
	7	Webサーバーを利用したプログラムの作成			4
	8	Webアプリケーション作成の基礎			4
	9	入力フォームを使ったプログラム			4
	10	リクエスト、レスポンス			4
	11	デザインパターンMVCモデルとは			4
	12	Webアプリケーションのデータスコープ			4
	13	Webアプリケーションの作成演習①(概要編)			4
	14	Webアプリケーションの作成演習②(あいまい検索)			4
	15	Webアプリケーションの作成演習③(新規登録)			4
	16	Webアプリケーションの作成演習④(削除)			4
	17	Webアプリケーションの作成演習⑤(編集)			4
	18	ワークショップ①(問い合わせフォーム)			4
	19	ワークショップ②(郵便番号検索)			4
	20	EL式とJSTLタグの基礎			5
	合計時間数				80
教科書	自作プリント、スライド(PDF)				
時間外学習	授業時間内で終わらなかった演習課題の作成を行う				
成績評価方法	授業態度(20pt)、課題提出率(40pt)、課題得点率(40pt) 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	演習、講義	講義時期	後期
授業科目	選択科目実習(ネットワーク)	担当者	大城 全揮	科目必修区分	選択
授業概要	ネットワーク機器を利用し構築技術を体系的に学習することで、ネットワークエンジニアとしての知識・技術を学習するコース。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク技術の概要説明が出来る様になる。 ・中・小規模のネットワーク構築が出来る。 ・ネットワーク構築の際のトラブルシューティングが出来る。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション:講座内容の説明やシラバス説明			1
	2	実習環境構築			2
	3	ネットワークの基礎			10
	4	LANスイッチングの基礎			12
	5	スイッチ設定実習			15
	6	ルーティングの基礎			15
	7	ルーター設定実習			15
	8	ネットワーク構築実習			15
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				85
教科書	自作教材				
時間外学習	シミュレーションソフトによる自己学習				
成績評価方法	授業態度10pt、課題提出30pt、期末試験60pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
	実務経験紹介				

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	演習、講義	講義時期	後期
授業科目	選択科目実習(セキュリティ)	担当者	山口 雅樹	科目必修区分	必修
授業概要	プラットフォーム・Webアプリケーションの脆弱性を理解し、ツールを用いて対象の脆弱性を検出できる脆弱性診断士の育成を目的とする。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> プラットフォームの脆弱性とその対策方法を説明することが出来る Webアプリケーションの脆弱性とその対策方法を説明することが出来る 脆弱性診断ツールの基本操作を理解し、脆弱性を検出することが出来る 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	ガイダンス、脆弱性ガイドライン説明、各種セキュリティ資格紹介			5
	2	HTTP/ネットワーク基礎			5
	3	WEBアプリケーション脆弱性説明とXSS実習			5
	4	SQLインジェクション実習			5
	5	CSRF実習			5
	6	その他脆弱性実習			5
	7	脆弱性診断と結果報告			5
	8	ここまでの振り返り（第3回から第6回までの実習のおさらい）			5
	9	Web診断実習 (BURP SUITE)			5
	10	Web診断実習 (OWASP ZAP)			5
	11	診断報告書の作成と法令			5
	12	Web診断実習 振り返りと課題提出準備			5
	13	課題提出と評価			5
	14	プラットフォーム診断1			5
	15	プラットフォーム診断2			5
	16	プラットフォーム診断3			5
	17	課題提出と評価			5
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				85
教科書	Webセキュリティ担当者のための脆弱性診断スタートガイド 第2版 上野宣				
時間外学習	オンデマンド教材 (Udemy)				
成績評価方法	授業態度 20pt、課題提出 40pt、評価試験 40pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	演習、講義	講義時期	後期
授業科目	選択科目実習(レゴロボ)	担当者	大城 政邦	科目必修区分	必修
授業概要	ScratchとC言語でLEGO Mindstorm EV3(レゴロボ)をプログラミングする実習を通し、ScratchとC言語の習得とハードウェアのプログラミングを理解する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> Scratchでプログラムを書けるようになる C言語でプログラムを書けるようになる EV3(レゴロボ)を設計したソフトウェア通りに動かせるようになる チームでの作業を通じてチームワークを身につける 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	環境構築			5
	2	C言語基礎(擬似言語との関連付け)			5
	3	C言語基礎(プログラム作成)			10
	4	EV3組立て、Scratch基礎			5
	5	EV3プログラミング(Scratch)			5
	6	EV3プログラミング(Scratch)、センサー活用			10
	7	EV3プログラミング(Scratch)、ライントレース			10
	8	C言語環境構築			5
	9	EV3プログラミング(C言語)、センサー活用			15
	10	EV3プログラミング(C言語)、ライントレース			15
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				85
教科書	EV3 Classroom プログラミングガイド ロボットで学ぶC言語 プログラミング基礎 独自資料				
時間外 学習	課題の作成と提出				
	学校基準により4段階評価とする				
成績評価 方法	授業態度40pt、課題提出60pt				
担当詳細	教員	備考			
	実務経験紹介				

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	演習、講義	講義時期	後期
授業科目	選択科目実習(プログラミング基礎)	担当者	赤嶺 達也	科目必修区分	選択
授業概要	プログラミングを一から勉強したい人向けのコース。 プログラム言語の基礎、文法などを実習を通して学習します。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎レベルの文法が読める。 ・簡易プログラム程度ならトレースできる。 ・サーティファイJava2, 3級程度の問題が解ける。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション: 講座内容の説明やシラバス説明			1
	2	実習環境構築			2
	3	Javaプログラム作成手順・基礎知識			2
	4	リテラル			2
	5	変数とデータ型			3
	6	演算子			4
	7	基本文法1(条件分岐)			6
	8	基本文法2(繰返し)			6
	9	配列			6
	10	文字列(Stringクラス)			6
	11	メソッド作成			6
	12	mainメソッドと引数			6
	13	演習課題			35
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				85
教科書	自作教材				
時間外学習	paiza教材 (Java入門)				
成績評価方法	授業態度10pt、課題提出60pt、期末試験30pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	演習、講義	講義時期	後期
授業科目	選択科目実習(サーバ環境構築(実践))	担当者	山川 こゆき	科目必修区分	必修
授業概要	Linux(Ubuntu) で使われている便利なアプリケーションの中からいくつかをインストールし実際に活用します。また、フロントエンドからバックエンドまでの構築技術、公開サイトの試験運用で利用者のリサーチ分析を通して、一連の「Webサーバ構築および運用・マーケティングリサーチ・分析」まで実践的に学びます。				
到達目標	1. 汎用性の高いLinuxOSの環境設定ができる 2. ディストリビューションUbuntuのアプリケーションを理解し、操作できる 3. LinuxOSにおけるフロントエンドからバックエンドの構築・運用ができる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション:授業の概要・シラバス、環境構築(Ubuntu)、発表			5
	2	アプリケーションを使いこなす1:選定、設定、使用調査、分析、発表			5
	3	アプリケーションを使いこなす2:選定、設定、使用調査、分析、発表			5
	4	アプリケーションを使いこなす3:選定、設定、使用調査、分析、発表			5
	5	RHEL8 企業標準Linux:講義、導入、活用、分析、発表			5
	6	WSL:講義、導入、活用、分析、発表			10
	7	LinuxOSにおけるセキュリティの概要とローカルでの対策:研究、分析、発表			5
	8	目的別Linux環境構築:環境別調査、検証、分析、発表			5
	9	講義「ソサイエタル・マーケティング」とは、CSR活動とマーケティング調査・分析、発表			5
	10	Webサーバ構築 day1:概要説明、企画、VPS設定、進捗発表			5
	11	Webサーバ構築 day2:環境構築、検証、進捗発表			5
	12	Webサーバ構築 day3:環境構築、検証、進捗発表			5
	13	Webサーバ構築 day4:環境構築、検証、進捗発表			5
	14	Webサーバ構築 day5:環境構築、検証、進捗発表			5
	15	修了発表:環境構築・運用内容、成果物、市場調査等プレゼンテーション			10
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				85
教科書	<ul style="list-style-type: none"> 最短突破 Linuレベル1 バージョン10.0 合格教本 (101試験,102試験対応) 日経Linux (一部抜粋) 日経Linux Linux活用大全 (一部抜粋) 				
時間外学習	実習課題や演習問題の復習、実習に向けた教科書での自由演習				
成績評価方法	授業態度40pt、単元到達度40pt、修了発表20pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	演習、講義	講義時期	後期
授業科目	選択科目実習(チャレンジコース)	担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	必修
授業概要	学生個々で目標を設定し、独学(動画学習等含む)で目標を達成する				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 各自で設定した目標を達成するための手段およびスケジューリングの習得 問題が起こった時の対処法、リスケジューリングの習得 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	後期:オリエンテーション			1
	2	後期:目標の設定および進捗方法の確認			1
	3	後期:目標を進める			73
	4	後期:進捗率の確認			10
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				85
教科書					
時間外学習	各自目標を進める				
成績評価方法	授業態度60pt、課題達成率40pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科3年次以上	授業方法	演習、講義	講義時期	後期
授業科目	選択科目実習(データベース基礎)	担当者	今頭 翔太	科目必修区分	選択
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・OSS-DBの科目について、基礎からしっかり学びなおし、資格の再チャレンジを目指してもらおう。 ・再度学ぶことにより、基礎知識の定着を図る。 				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. PostgreSQLのコマンドとSQLを使えるようになる 2. OSS-DB Silver の問題が解けるようになる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			2
	2	データベースの環境構築			2
	3	1章・オープンソースデータベースの一般的特徴			1
	4	2章・データベースの基礎知識			6
	5	3章・インストール			4
	6	4章・標準付属ツール			5
	7	5章・設定ファイル			5
	8	6章・バックアップとリストア			6
	9	7章・基本的な運用管理			7
	10	8章・SQLとオブジェクト			10
	11	9章・組込関数と演算子			3
	12	10章・トランザクション			4
	13	試験対策			30
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				85
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・OSS教科書OSS-DB Silver ・徹底攻略OSS-DB Silver問題集 ・web問題集Ping-t 				
時間外学習	オンライン教材(Paizaラーニング)による自主学習環境を提供				
成績評価方法	授業態度:20pt 実習課題:50pt 評価テスト:30pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
	実務経験紹介				

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	演習、講義	講義時期	後期
授業科目	選択科目実習(ヒューマンスキル)	担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	選択
授業概要	ゲームやグループディスカッションを通し、社会人として必要なスキル(コミュニケーション能力、新アイデア創出)強化を図る。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ルール内での創意工夫、斬新な発想を生み出すことができる ・グループで活動しコミュニケーション能力を最大限に発揮できる ・自身の持つアイデア、考えを他者へわかりやすく伝えることができる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	グループディスカッション			7
	2	グループディスカッションワーク			10
	3	マンダラチャート作成			8
	4	ディベート			7
	5	コミュニケーション力強化			6
	6	社会人としての基礎知識(政治・経済など)			5
	7	リーダー育成			5
	8	プレゼン力強化			10
	9	プレゼン資料作成			10
	10	各項目振り返り			9
	11	プレゼンテーション			8
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				85
教科書	無し				
時間外学習	授業内の各種事例を深く掘り下げる。同様事例を独自に情報収集する				
成績評価方法	出席率15pt、授業態度15pt、科目終了後の授業レポート30pt、プレゼン評価40pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・2年次	授業方法	講義、演習、実習	講義時期	後期
授業科目	オンデマンド授業 (JavaScript & Laravel)	担当者	赤嶺 達也	科目必修区分	必修
授業概要	動画教材や作品制作を通して簡単なWebアプリ構築の体験とフレームワークを使ったシステム開発の体験を行う。				
到達目標	1. フレームワークを使ったプログラミングが書けるようになる 2. 作品制作を通して、webアプリケーションについて理解する				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	授業の導入			1
	2	セクション1:コースの概要と事前学習			2
	3	セクション2:環境構築			5
	4	セクション3:メモ機能以外を実装			6
	5	セクション4:メモ基本機能の作成			10
	6	セクション5:タグ機能の実装			8
	7	セクション6:メモ機能の細かい部分を実装			8
	8	セクション7:Viewのデザインを整える			8
	9	作品制作			32
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				80
教科書	動画教材Udemy「Laravel8とMySQLで作るシンプルメモアプリ」				
時間外学習	オンライン学習教材(Paizaラーニング)				
成績評価方法	授業態度:20pt 実習課題提出点:50pt 作品提出点:30pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・2年次	授業方法	講義、演習、実習	講義時期	後期
授業科目	ネットワーク入門 I (ITN)	担当者	大城 全揮	科目必修区分	必修
授業概要	IPアドレッシングやイーサネットの基礎を含む、インターネットや最新のコンピューターネットワークを介してユーザー、デバイス、アプリケーション、データを接続するためのアーキテクチャ、モデル、プロトコル、ネットワークを学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ルーティング、スイッチング、アプリケーションプロトコルについての説明が出来る。 ルーターの基本設定が出来る。 スイッチの基本設定が出来る。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	モジュール1:今日のネットワーク			4
	2	モジュール2:基本的なスイッチとエンドデバイスの設定			4
	3	モジュール3:プロトコルとモデル			4
	4	モジュール4:物理層			4
	5	モジュール5:記数法			4
	6	モジュール6:データリンク層			4
	7	モジュール7:イーサネットスイッチング			4
	8	モジュール8:ネットワーク層			4
	9	モジュール9:アドレス解決			4
	10	モジュール10:基本的なルータの設定			4
	11	モジュール11:IPv4アドレッシング			6
	12	モジュール12:IPv6アドレッシング			4
	13	モジュール13:ICMP			4
	14	モジュール14:トランスポート層			4
	15	モジュール15:アプリケーション層			4
	16	モジュール16:ネットワークセキュリティの基礎			6
	17	モジュール17:小規模ネットワークの構築			6
	18				
	19				
20					
	合計時間数				74
教科書	Webテキスト(Cisco academy 提供)				
時間外学習	パケットトレーサー(実習環境)を使用したラボ実習				
成績評価方法	授業態度20pt、実習課題30pt、期末試験50pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次	授業方法	実習、講義	講義時期	後期
授業科目	開発実習(応用)	担当者	屋良 朝也	科目必修区分	必修
授業概要	システム開発に用いられる設計資料の作成の演習を行い、上流工程における設計を体験し、システム開発全体の仕事内容について学習する。				
到達目標	1. システム設計の外部設計(画面、データベース)の資料作成を行う。 2. UML図の作成を行い作成ができるようにする 3. 単体テスト、結合テスト、障害報告、適格性確認など体験し作成方法を学ぶ				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	授業概要と授業実施前の準備			1
	2	システム開発演習の概要			4
	3	ソフトウェア要件定義			4
	4	UML図作成演習			8
	5	ソフトウェア方式設計:入出力インタフェース設計			4
	6	画面レイアウト設計の演習			5
	7	ソフトウェア方式設計:データベース設計			4
	8	データベーステーブル作成の演習			5
	9	データベース格納データの作成(CSVファイル)の演習			5
	10	ソフトウェア方式設計:クラス設計			4
	11	クラス図、シーケンス図の演習			5
	12	ソフトウェア詳細設計			4
	13	単体テスト仕様書作成			6
	14	Webアプリケーションの作成演習			15
	15	Java GUIプログラム			8
	16	Java フレームワーク			8
	17				
	18				
	19				
20					
	合計時間数				90
教科書	自作プリント、スライド(PDF)				
時間外学習	授業時間内で終わらなかった演習課題の作成を行う				
成績評価方法	授業態度(20pt)、課題提出率(40pt)、課題得点率(40pt)				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・3年次	授業方法	実習、講義、演習	講義時期	通年
授業科目	ログ分析実習(Splunk)	担当者	大城 全揮・山口 雅樹	科目必修区分	必修
授業概要	Splunkによる様々なデータの取り込み、簡単なデータ検索とグラフによる可視化など基本操作を学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> • Splunkの環境構築ができる。 • Splunkの基本操作(データ取り込み、検索、可視化)ができる。 • Splunkに対して拡張機能の開発を行うことができる。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	ガイダンス、シラバス・コマ配分説明、Splunk紹介			5
	2	実習環境構築/User登録			5
	3	BASICハンズオン1 データ登録、サーチ基礎 (Splunk社 資料利用)			5
	4	BASICハンズオン2			3
	5	BASICハンズオン3			5
	6	SSHハンズオン/SPLの基本			5
	7	Search Tutorial 1 (Splunk社 資料利用)			5
	8	Search Tutorial 2 (Splunk社 資料利用)			5
	9	Search Tutorial 3 (Splunk社 資料利用)			3
	10	環境再構築(ライセンス更新/MBSD実習環境事前構築/e-Learnig			5
	11	MBSD社授業前 環境事前構築/e-Learning			5
	12	MBSD社授業			5
	13	MBSD社授業			5
	14	環境再構築/前期授業振り返り(BASICハンズオン)			2
	15	前期授業振り返り (SSHハンズオン)			2
	16	前期授業振り返り (Serch Tutorial ハンズオン)			2
	17	前期授業振り返り (MBSD授業ハンズオン)			2
	18	PBL演習準備/チーム分け			2
	19	PBL演習/課題選択			5
	20	PBL演習/構築開始			2
	21	PBL演習/発表資料作成			2
	22	PBL演習/発表資料作成			5
	23	外部授業(予定)			10
	24	PBL中間発表			6
25	環境再構築 MBSD発表資料作成(PBL)			3	

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・3年次	授業方法	実習、講義、演習	講義時期	通年
授業科目	ログ分析実習(Splunk)	担当者	大城 全揮・山口 雅樹	科目必修区分	必修
授業概要	Splunkによる様々なデータの取り込み、簡単なデータ検索とグラフによる可視化など基本操作を学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> • Splunkの環境構築ができる。 • Splunkの基本操作(データ取り込み、検索、可視化)ができる。 • Splunkに対して拡張機能の開発を行うことができる。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	26	MBSD発表資料作成(PBL)			6
	27	MBSD発表資料作成(PBL)			5
	28	MBSD発表資料作成(PBL)			6
	29	MBSD発表資料作成(PBL)			5
	30	PBL演習発表/MBSD授業			11
	合計時間数				137
教科書	•e-Learning教材 ・自作教材				
時間外 学習	Splunk Core Certified User受験に向けた学習				
	成果物作成に向けた学習				
成績評価 方法	授業態度 20pt、課題提出 40pt、成果物 40pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	実務家	備考			
実務経験紹介	IT業界 (システムエンジニア歴 含む) 3年 Cisco Networking Academy Instructor Trainer				

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・3年次	授業方法	講義、演習	講義時期	通年
授業科目	就職実務	担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	必修
授業概要	社会の構造、企業の構造など、社会人にとって基本的な素養を学習し、就職活動の具体的な進め方について学習・演習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 自己分析や企業研究など自発的に取り組み、履歴書を完成させることができる。 基本的な就職活動の流れとポイントを押さえて動くことができる SPI、CAB、GAB試験の内容を理解し効率的に問題を解くことができる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	導入			1
	2	就職実務授業事前ワーク <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション力を高める 他者理解 己を知る 話したいことを言語化する スケジュール管理と情報収集力 			15
	3	1章:就職活動の基礎を整える			
	4	1-1:身だしなみを整える、履歴書の準備、採用試験(面接)の受け方			0.5
	5	1-2:KBC学園センスアップセミナー			0.5
	6	2章:就職活動の実践			
	7	2-1:KBC学園の就職斡旋規定			0.5
	8	2-2:就職活動のスケジュールリング			0.5
	9	2-3:KBC学園就職活動の流れ			0.5
	10	2-4:企業情報の収集方法			0.5
	11	2-5:企業訪問・会社説明会			0.5
	12	2-6:求人票の見方			0.5
	13	2-7:企業情報のまとめ方			0.5
	14	2-8:面接試験に備える(志望動機の実成)			0.5
	15	2-9:採用試験(事前準備と注意事項)			0.5
	16	2-10:添え状・詫言状			0.5
	17	2-11:内定を辞退する場合			0.5
	18	3章:社会人になる前に			
	19	3-1:新入社員として			0.5
	20	3-2:すぐに必要となるビジネスマナー			1
	21	センスアップセミナー(準備・実践)			20
	22	会社説明会及び面接対策 SPI、CAB、GABについて対策 外部機関による就職講和および演習等の実施			57
	合計時間数				85
教科書	KBC学園 就職活動の進め方 最新SPI3 2025年度版 CAB・GAB超速解法 2025年度版				
時間外学習	採用試験(面接)の事前練習 履歴書の作成				
成績評価方法	授業態度20pt 履歴書完成度20pt 取り組み姿勢40p 提出物20pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・3年次	授業方法	実習、講義、演習	講義時期	前期
授業科目	システム構築技術 I (LinuC102)	担当者	山川 こゆき	科目必修区分	必修
授業概要	サーバ環境で用いられるUnixOSにおいて、市場で利用頻度が高いLinuxを講義および演習を通して理解する。Linux実習環境を通じて、コマンドをはじめ Linux の基本構成を学習する。LinuCレベル1;102試験に向けた基礎知識が理解でき、取得を目指す。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> Linux環境の設定・変更・削除など管理ができる Linuxコマンドを理解し、操作できる LinuCレベル1-102試験範囲の基礎知識が理解できる 知識・技術習得・実践を通して、認定試験合格を目指す 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション:LinuCレベル1-102の試験概要、環境設定の確認			2
	2	序章:LinuCレベル1-101の復習(振り返り)			4
	3	第6章:シェルとシェルスクリプト(講義と実践)			6
	4	Web演習問題「Ping-t」・問題演習「スピードマスター」実施と解説:第6章			8
	5	第7章:ネットワークの基礎(講義と実践)			6
	6	Web演習問題「Ping-t」・問題演習「スピードマスター」実施と解説:第7章			8
	7	第8章:システム管理(講義と実践)			6
	8	Web演習問題「Ping-t」・問題演習「スピードマスター」実施と解説:第8章			8
	9	第9章:必須システムサービス(講義と実践)			6
	10	Web演習問題「Ping-t」・問題演習「スピードマスター」実施と解説:第9章			8
	11	第10章:セキュリティ(講義と実践)			6
	12	Web演習問題「Ping-t」・問題演習「スピードマスター」実施と解説:第10章			10
	13	第11章:オープンソースの文化(講義と実践)			4
	14	Web演習問題「Ping-t」・問題演習「スピードマスター」実施と解説:第11章			4
	15	期末評価試験:実施			3
	16	模擬試験:第1回～第3回 実施と解説			12
	17	本試験;実施			4
	18				
	19				
20					
	合計時間数				105
教科書	<ul style="list-style-type: none"> 最短突破 LinuCレベル1 バージョン10.0 合格教本 (101試験,102試験対応) Linux教科書 LinuCレベル1 スピードマスター問題集 Version10.0対応 (101,102試験対応) 				
時間外学習	実習課題や演習問題の復習、オンライン学習Ping-tを活用した資格試験受験に向けた自由演習				
成績評価方法	授業態度40pt、単元テスト20pt、期末評価試験20pt、本試験結果20pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・3年次	授業方法	講義、実習	講義時期	前期
授業科目	オンデマンド授業(Security+)	担当者	山口 雅樹	科目必修区分	必修
授業概要	CompTIA Security+認定資格のカリキュラムを通じ、情報セキュリティの脅威や攻撃、脆弱性の内容だけでなく、セキュリティアーキテクチャや設計・実装、運用やインシデントレスポンスまで学んでいく。授業は、Udemyの”CompTIA Security+ (SY0-601) Bootcamp”の視聴を通じ、教員による各セクションの概要説明や小テストを通じて学修していく。				
到達目標	1. 「情報セキュリティ」の概念についての説明ができる 2. ComTIA Securiy+ の試験に合格する。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	シラバス説明(授業目的・年間スケジュール・取得目標検定説明)			1
	2	1 Overview of Security 1時間3分			3
	3	2 Malware 32分			2
	4	3 Malware Infections 53分			3
	5	4 Security Applications and Devices 42分			2
	6	5 Mobile Device Security 33分			2
	7	6 Hardening 33分			2
	8	7 Supply Chain Management 19分			2
	9	8 Virtualization 22分			2
	10	9 Application Security 22分			2
	11	10 Secure Software Development 1時間11分			4
	12	11 Network Design 36分			2
	13	12 Perimeter Security 26分			2
	14	13 Cloud Security 55分			4
	15	14 Automation 29分			2
	16	15 Network Attacks 49分			3
	17	16 Securing Networks 57分			4
	18	17 Physical Security 14分			1
	19	18 Facilities Security 47分			3
	20	19 Authentication 36分			2
	21	20 Access Control 37分			2
	22	21 Risk Assessments 35分			2
	23	22 Vulnerability Management 53分			3
	24	23 Monitoring and Auditing 52分			3
	25	振り返り			1
	26	中間試験 6月末			1
	27	24 Cryptography 48分			4
	28	25 Hashing 16分			1
	29	26 Public Key Infrastructure 21分			2
	30	27 Security Protocols 18分			2
	31	28 Planning for the Worst 51分			3
	32	29 Social Engineering 40分			2
	33	30 Policies and Procedures 1時間15分			4

シラバス

令和 5 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・3年次	授業方法	講義、実習	講義時期	前期
授業科目	オンデマンド授業(Security+)	担当者	山口 雅樹	科目必修区分	必修
授業概要	CompTIA Security+認定資格のカリキュラムを通じ、情報セキュリティの脅威や攻撃、脆弱性の内容だけでなく、セキュリティアーキテクチャや設計・実装、運用やインシデントレスポンスまで学んでいく。授業は、Udemyの”CompTIA Security+ (SY0-601) Bootcamp”の視聴を通じ、教員による各セクションの概要説明や小テストを通じて学修していく。				
到達目標	1. 「情報セキュリティ」の概念についての説明ができる 2. ComTIA Securiy+ の試験に合格する。				
授業計画	内 容				授業時間数
	34	31 Incident Response and Forensics 1時間25分			5
	35	32 Conclusion 13分			1
	36	33 Practice Exam 90問/90分			4
	37	振り返り			1
	38	期末試験 8月末			1
	39	本試験対策、試験受験 (10月,11月)			20
	合計時間数				110
教科書	なし (Udemyのスタディガイドと教員の解説資料を利用する)				
時間外学習	UDEMY視聴により授業時間内で終わらなかった実習課題や演習問題・資格試験受験に向けた勉強				
	The Official CompTIA Security+ Self-Paced Study Guide (試験番号:SY0-601) eBook 日本語版				
成績評価方法	前期(授業態度20pt、課題提出20pt、中間テスト 30pt、期末テスト30pt)				
	後期(授業態度、模擬試験と本番試験で評価) 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・3年次	授業方法	講義、演習、実習	講義時期	前期
授業科目	ネットワーク入門Ⅱ(SRWE)	担当者	大城 全揮	科目必修区分	必修
授業概要	中小企業のネットワークをサポートするスイッチングテクノロジーとルーターの操作ワイヤレスローカルエリアネットワーク(WLAN)とセキュリティの概念について学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・デバイス(ルータ、スイッチ)の基本的な設定ができる。 ・スイッチのセキュリティ設定ができる。 ・LANとWANの違いが説明できる。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	モジュール1:基本的なデバイスの設定			6
	2	モジュール2:スイッチングの概念			5
	3	モジュール3:VLAN			6
	4	モジュール4:VLAN間ルーティング			6
	5	モジュール5:STPの概念			5
	6	モジュール6:EtherChannel			6
	7	モジュール7:DHCPv4			6
	8	モジュール8:SLAACおよびDHCPv6			6
	9	モジュール9:FHRPの概念			5
	10	モジュール10:LANセキュリティの概念			5
	11	モジュール11:スイッチのセキュリティ設定			6
	12	モジュール12:WLANの概念			5
	13	モジュール13:WLANの設定			6
	14	モジュール14:ルーティングの概念			5
	15	モジュール15:IPスタティックルーティング			6
	16	モジュール16:スタティックルーティングとデフォルトルートのトラブルシューティング			6
	17				
	18				
	19				
20					
	合計時間数				90
教科書	Webテキスト(Cisco academy 提供)				
時間外学習	パケットトレーサー(実習環境)を使用したラボ実習				
成績評価方法	授業態度20pt、実習課題30pt、期末試験50pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・3年次	授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	ネットワーク入門Ⅲ(ENSA)	担当者	大城 全揮	科目必修区分	必修
授業概要	IPアドレッシングやイーサネットの基礎を含む、インターネットや最新のコンピューター ネットワークを介してユーザー、デバイス、アプリケーション、データを接続するためのアーキテクチャ、モデル、プロトコル、ネットワークを学習します。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ルーティングプロトコル(OSPF)の設定ができる。 ・ACLを使用してアクセス制御ができる。 ・ネットワークの仮想化、自動化の説明ができる。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	モジュール1:シングルエリアOSPFv4の概念			5
	2	モジュール2:シングルエリアOSPFv4の設定			5
	3	モジュール3:ネットワークセキュリティの概念			5
	4	モジュール4:ACLの概念			5
	5	モジュール5:IPv4 ACLの設定			5
	6	モジュール6:IPv4 NAT			5
	7	モジュール7:WANの概念			5
	8	モジュール8:VPNおよびIPsecの概念			5
	9	モジュール9:QoSの概念			5
	10	モジュール10:ネットワーク管理			5
	11	モジュール11:ネットワーク設計			5
	12	モジュール12:ネットワークのトラブルシューティング			5
	13	モジュール13:ネットワーク仮想化			5
	14	モジュール14:ネットワーク自動化			5
	15	試験対策			20
	16				
	17				
	18				
	19				
20					
	合計時間数				90
教科書	Webテキスト(Cisco academy 提供)				
時間外学習	パケットトレーサー(実習環境)を使用したラボ実習				
成績評価方法	授業態度20pt、実習課題30pt、期末試験50pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・3年次	授業方法	講義、演習、実習	講義時期	後期
授業科目	オンデマンド授業(サーバ構築運用)	担当者	大城政邦、山川こゆき	科目必修区分	必修
授業概要	これまで学んだ科目を「サーバ構築および運用」を通して体系的に学んでいく。フロントエンドからバックエンドで活用するサービスを実際に構築しながら、知識・技術の活用方法を学ぶ				
到達目標	1. Linuxサーバー構築を学ぶことができる 2. Apache Webサーバー・MySQLデータベースサーバー・PHP・WordPressのインストールができるようになる 3. コンテナ型仮想化技術を体験し、Dockerのコンテナを使用したWordPressサイト構築を体験できる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション: 講座の概要			3
	2	ディストリビューションのインストール: CentOS			5
	3	CentOS7をVPSにインストール・設定・検証			5
	4	サーバ管理: サーバの負荷チェック			5
	5	サーバ管理: ディスク・メモリ使用状況のチェック			5
	6	LAMP環境の構築: httpd、PHP7、MariaDB、WordPressのインストール			5
	7	LAMP環境の構築: Webページの作成			4
	8	Dockerの体験: 概要			4
	9	Docker体験: コンテナの起動と管理			4
	10	Dockerの体験: コンテナの再起動と停止			4
	11	Dockerの体験: イメージの作成			4
	12	Dockerの体験: DockerでWordPressを動かす			4
	13	成果物の発表・提出			10
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				62
教科書	オンデマンド教材「Udemy」				
時間外学習	オンデマンド教材「Udemy」				
成績評価方法	授業態度40pt、プレゼンテーション20pt、成果物40pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・3年次	授業方法	講義、演習、実習	講義時期	後期
授業科目	志学Ⅱ	担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	必修
授業概要	やりがいを持てる社会人生活を送る為に、社会との繋がりの中で自分自身の生きる姿勢を探求し、ロールモデルを探し自身の「志」を具体化させていく事を目指す。				
到達目標	志高い人々に学び、能動的に行動するために考える力、伝える力を磨き、自身の働き方、社会人としてのあり方を整理し自身の「志」(目標)を立てる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	志学Ⅱ 序章			2
	2	志学Ⅱ 第1章 志とは			2
	3	志学Ⅱ 第2章 感化力「志」高く生きた人に学ぶ			6
	4	志学Ⅱ 第3章 伝える力(思いを言葉に変える力)を磨く			2
	5	志学Ⅱ 第4章 考える力(思考力)を磨く			6
	6	志学Ⅱ 第5章 私の「志」			2
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				20
教科書	志学Ⅰ・Ⅱ (KBC学園オリジナルテキスト)				
時間外学習	「私のロールモデル」プレゼンテーション資料作成(100分)				
成績評価方法	授業態度30pt、授業レポート及び課題70pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・4年次	授業方法	実習	講義時期	通年
授業科目	卒業研究	担当者	赤羽 利夫、他	科目必修区分	必修
授業概要	個人ごともしくはグループで、自ら課題を定義し、それをこれまでに学んだ技術・知識を用いて解決し各種の制作物を成果物として作成する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 研究テーマに沿った技術の習得 研究テーマの発表を通して、円滑に発表する事が出来る 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	科目の導入			1
	2	研究テーマの選択			14
	3	研究テーマについて理解を深める			80
	4	研究テーマに沿った開発及び発表準備			80
	5	発表会			5
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				180
教科書	なし				
時間外学習	研究テーマについての自己学習				
成績評価方法	授業態度(30pt)、成果物(70pt)				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)4年次	授業方法	講義、実習	講義時期	前期
授業科目	機械学習演習	担当者	大城 政邦	科目必修区分	必修
授業概要	動画教材を通じ、機械学習の基礎理論や Python の機械学習ライブラリである scikit-learn を用いたプログラミングを行う。				
到達目標	1. 機械学習の基本となる理論を理解する 2. Python の機械学習ライブラリである scikit-learn を用いてプログラミングできる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	授業の導入			2
	2	AI活用事例			2
	3	機械学習の基礎と精度の測り方			6
	4	JupyterNotebook			1
	5	numpy			4
	6	matplotlib			4
	7	pandas			4
	8	基本統計量			4
	9	線形回帰①(単回帰分析)			4
	10	線形回帰②(重回帰分析)			4
	11	ロジスティック回帰			4
	12	SVM(サポート・ベクトル・マシーン)			4
	13	ランダムフォレスト			4
	14	K-means法			4
	15	PCA(主成分分析)			4
	16	データの前処理			4
	17	タイタニックのデータで機械学習			4
	18	3つ以上のデータの分類			4
	19	その他実習			25
	20				
	合計時間数			92	
教科書	動画教材Udemy「はじめてのAI」 動画教材Udemy「【G検定の一部対策に】DX推進者に不可欠なAI・機械学習の基礎と精度の測り方をコンパクトに学ぼう！」 動画教材Udemy「JupyterNotebookで学習する機械学習の初歩からKaggleの初歩まで」 paizaラーニング「Python×AI・機械学習入門編」				
時間外学習	実習課題作成と提出				
成績評価方法	授業態度20pt, 実習課題提出点60pt, その他課題20pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・4年次	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	仮想化演習 I (AWS:初級)	担当者	大城 全揮	科目必修区分	必修
授業概要	クラウドの概念・セキュリティ・テクノロジー・請求と料金など、クラウド技術の中心となる仮想化技術を、クラウド環境を用いて学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・AWSクラウドのITサービスおよびその用途のベーシックな知識が説明出来る。 ・AWSのコアサービスとユースケース、課金、料金モデル、セキュリティコンセプト、クラウドがビジネスに与える影響についての説明が出来る。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	1章:AWS認定資格、オリエンテーション			7
	2	2章:AWSクラウドの概念			7
	3	3章:AWSのセキュリティ			7
	4	4章:AWSのテクノロジー			7
	5	5章:コンピューティングサービス			7
	6	6章:ストレージサービス			7
	7	7章:ネットワークサービス			7
	8	8章:データベースサービス			7
	9	9章:管理サービス			7
	10	10章:請求と料金			7
	11	試験対策			23
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				93
教科書	AWS認定クラウドプラクティショナー、AWS提供動画				
時間外 学習	章末試験の実施				
	事業内で実施したラボ実習の復習				
成績評価 方法	授業態度20pt、課題提出30pt、期末試験50pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	実務家	備考			
	実務経験紹介	IT業界 (システムエンジニア歴 含む) 3年 Cisco Networking Academy Instructor Trainer			

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・4年次	授業方法	講義、演習、実習	講義時期	前期
授業科目	オンデマンド授業(Python)	担当者	福士 とよみ	科目必修区分	必修
授業概要	Python言語の基本文法、オブジェクト指向プログラミング(クラス・オブジェクト)を理解する。 Pythonを使った、デスクトップアプリやスクレイピングのプログラミングを体験する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 基本的なPython言語のプログラムを作ることができる。 オブジェクト指向プログラミングの考え方に沿ったプログラムが作成できる。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	開発環境の整備			2
	2	セクション1:イントロダクション			1
	3	セクション2:学習の準備をしよう			2
	4	セクション3:基本的なコードを書こう			6
	5	セクション4:演算子を使ってみよう			6
	6	セクション5:データをまとめて扱おう			8
	7	セクション6:制御文を書いてみよう			8
	8	セクション7:文章を扱ってみよう			8
	9	セクション8:関数に処理をまとめてみよう			7
	10	セクション9:オブジェクト指向を学ぼう			7
	11	セクション10:ファイルと例外処理を学ぼう			8
	12	セクション11:デスクトップアプリを作ってみよう			6
	13	セクション12:Webスクレイピングをやってみよう			6
	14	セクション13:さらに学びたい方のために			1
	15	セクション14:ボーナスレクチャー			1
	16	予備			3
	17				
	18				
	19				
20					
	合計時間数				80
教科書	【動画教材】はじめてのPython 少しずつ丁寧に学ぶプログラミング言語Python3のエッセンス 自作教材				
時間外 学習	授業時間内で終わらなかったUDEMY視聴、演習問題、実習課題 オンライン教材(Paizaラーニング)による自主学習環境を提供				
成績評価 方法	授業態度20pt、動画の視聴状況40pt、課題の提出40pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・4年次	授業方法	実習、講義	講義時期	前期
授業科目	就職実務	担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	必修
授業概要	企業から内定を獲得するために、履歴書のブラッシュアップ、自己PRや志望動機などの内容強化、面接練習を行う。 社会人になる前にやっておくべきことを認識し、実際に行動に移せるようにする。				
到達目標	1. 企業内定を獲得する 2. 社会人になるまでにやっておくべきことを理解し、行動に移すことができる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	科目の目的などの説明（履修に対する動機づけ）			1
	2	未内定者 <ul style="list-style-type: none"> ・履歴書のブラッシュアップと作成 ・自己PRの内容強化 ・志望動機の内容確認 ・面接の練習 ・就職試験受験後の反省と改善 内定者 <ul style="list-style-type: none"> ・社会人になるまでにやっておくべきことの確認 (外部イベントへの参加、新聞などでの情報収集、読書など) ・内定職種に必要な資格取得のための計画の立案と実施 			69
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	合計時間数				70
教科書	KBC学園 就職活動の進め方				
時間外学習	採用試験準備(履歴書作成、エントリーシート、面接練習)				
	採用試験受検(筆記、webテスト、面接)				
成績評価方法	授業態度20pt 履歴書完成度20pt 取り組み姿勢40p 提出物20pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
	実務経験紹介				

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・4年次	授業方法	演習、講義	講義時期	後期
授業科目	選択科目実習(チャレンジコース)	担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	必修
授業概要	学生個々で目標を設定し、独学(動画学習等含む)で目標を達成する				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 各自で設定した目標を達成するための手段およびスケジュールリングの習得 問題が起こった時の対処法、リスケジュールリングの習得 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	後期:オリエンテーション			1
	2	後期:目標の設定および進捗方法の確認			1
	3	後期:目標を進める			60
	4	後期:進捗率の確認			8
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				70
教科書					
時間外学習	各自目標を進める				
成績評価方法	授業態度60pt、課題達成率40pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・4年次	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	仮想化演習Ⅱ(AWS)	担当者	大城 全揮	科目必修区分	必修
授業概要	AWS Well-Architected Frameworkの概念に基づいたシステム設計・構築・運用する上で5つの原則とベストプラクティス(最適な活用法)をクラウド環境を用いて学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・可用性、耐障害性、信頼性を考慮したアプリケーションの設計ができる。 ・AWSにおけるコンピューティング、ネットワーク、ストレージ、データベースの説明ができる。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	1章:AWS認定資格、オリエンテーション			4
	2	2章:グローバルインフラストラクチャとネットワーク			5
	3	3章:ネットワークとコンテンツ配信			5
	4	4章:コンピューティングサービス			5
	5	5章:運用支援サービス			5
	6	6章:ストレージサービス			5
	7	7章:データベースサービス			5
	8	8章:セキュリティとアイデンティティ			6
	9	9章:アプリケーションサービス			6
	10	10章:開発者ツール			6
	11	11章:プロビジョニングサービス			6
	12	12章:分析サービス			6
	13	13章:AWSのアーキテクチャ設計			6
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				70
教科書	AWS認定ソリューションアーキテクト - アソシエイト 改訂第2版、AWS提供動画				
時間外学習	章末試験の実施				
	事業内で実施したラボ実習の復習				
成績評価方法	授業態度20pt、課題提出30pt、期末試験50pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・4年次	授業方法	講義、演習、実習	講義時期	後期
授業科目	オンデマンド授業(Django)	担当者	福土 とよみ	科目必修区分	必修
授業概要	Pythonで実装されたフレームワークであるDjangoについて学習する。Djangoでの開発を体験することによって、Webアプリケーション、フレームワークについても理解する。 また、オンデマンド教材を活用し、最先端の技術をいち早く習得することを目指す。				
到達目標	1. Webアプリケーション、フレームワーク、Djangoについて説明できる。 2. Djangoを使った、基礎的なWebアプリケーションを作成できる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	科目の導入・授業の進め方について			1
	2	セクション1:Djangoのバージョンと講義内容につきまして			0.5
	3	セクション2:はじめに (Django2/3共通)			0.5
	4	セクション9:フレームワークとは (Django3)			1
	5	セクション10:仮想環境の構築 (Django3)			4
	6	セクション11:Hello world アプリ (Django3)			
	7	Djangoの起動・プロジェクトとsettings.pyファイル			2
	8	Hello world の表示 (function based view)			2
	9	Hello world の表示 (class based view)			2
	10	BASE_DIR の実験			2
	11	app is called! の表示 (Djangoの「アプリ」を使用)			2
	12	【Hello world アプリ 履修後の課題】			8
	13	セクション12:Todoアプリ (Django3)			
	14	初期設定			2
	15	モデル(テーブル)の作成			2
	16	管理ユーザの作成			1
	17	ListView(一覧表示画面)			2
	18	DetailView(詳細表示画面)・Bootstrap・base.html・list.html改訂			4
	19	CreateView(新規作成画面)			2
	20	DeleteView(削除画面)・UpdateView(更新画面)・レイアウトの調整			4
	21	【ToDo アプリ 履修後の課題】			8
	22	セクション13:社内SNSアプリ (Django3)			
	23	初期設定			2
	24	SignupView(ユーザ登録画面)			4
	25	LoginView(ログイン画面)・ListView(一覧表示画面)			2

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・4年次	授業方法	講義、演習、実習	講義時期	後期
授業科目	オンデマンド授業(Django)	担当者	福士 とよみ	科目必修区分	必修
授業概要	Pythonで実装されたフレームワークであるDjangoについて学習する。Djangoでの開発を体験することによって、Webアプリケーション、フレームワークについても理解する。 また、オンデマンド教材を活用し、最先端の技術をいち早く習得することを目指す。				
到達目標	1. Webアプリケーション、フレームワーク、Djangoについて説明できる。 2. Djangoを使った、基礎的なWebアプリケーションを作成できる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	26	Imageファイル、CSSファイルの扱い方・ログアウト機能			2
	27	DeleteView(削除画面)			2
	28	いいね機能、既読機能			1
	29	CreateView(新規作成画面)			2
	30	【社内SNS アプリ 履修後の課題】			20
	31	まとめ、予備			5
	32				
	合計時間数				90
教科書	(Udemy教材) 【徹底的に解説！】Djangoの基礎をマスターして、3つのアプリを作ろう！ 自作教材				
時間外 学習	授業時間内で終わらなかったレクチャー 期限までに課題アプリを完成させるための時間外学習				
成績評価 方法	授業態度20pt、提出課題39pt、課題アプリの作成41pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)4年次	授業方法	演習、講義	講義時期	後期
授業科目	ビジネスマナーⅡ	担当者	藤吉 綾子	科目必修区分	必修
授業概要	社会人として必要不可欠なビジネスマナーや電話応対、ビジネスルールをロールプレイを通して実践的に学習する				
到達目標	・身だしなみの重要性を認識し、TPOに合わせ身だしなみを整えることが出来る・名刺の正しい扱い方を身につける(受け方、出し方、同時交換の仕方) ・ビジネス電話の基本を踏まえ好感の持てる応対が出来る				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	社会人としての心構え(学生と社会人の違い、身だしなみ、言葉遣い)			2
	2	尊敬語と謙譲語の使い分け			4
	3	名刺の取り扱い方			
	4	【演習】名刺の受け方・出し方、同時交換の仕方			2
	5	来客応対(応接室や乗り物などの席次)			1
	6	電話応対			
	7	【演習】受け方(在社、不在時の対応→伝言メモの作成)			4
	8	【演習】かけ方			2
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				15
教科書	実践ビジネスマナー				
時間外学習	なし				
成績評価方法	授業態度(50pt)・提出物(25pt)・期末テスト(25pt)				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 5 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)4年次	授業方法	実習	講義時期	後期
授業科目	企業実習	担当者	企業担当者	科目必修区分	選択
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で学んだ知識や技術を現場で再確認し、「現場での実践」を体験する事で自身の学習の不足部分や実務能力を高める機会とする。 ・学生生活とは異なる社会人としてのあるべき姿を、現場の方々のご指導や助言をもとに学び、自己課題を明確に出来る機会とする。 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・研修先の業界の特徴を3項目以上挙げられる。 ・研修内容を整理し、課題を発見する事が出来る。 ・次段階の目標を設定し、実行の計画を立案する事が出来る。 				
授業計画	内 容				授業時間数
1	研修前学習1 ①働くことの意義 ②社会での企業の役割 ③社会人基礎力の理解 ④研修先企業の情報収集				3
2	研修前学習2 ①接遇マナーの再確認(演習) ②研修先業種・職種の専門業務知識の理解 ③個人情報について ④守秘義務について ⑤研修に必要な書類作成・準備				4
3	企業研修2【業務補助型研修】 学校で学んだ知識や技術をもとに現場での業務の補助業務を行う				320
4	企業研修3【業務参画型研修】 実践的な実習でこれまでの経験をもとに自身の課題点を振り返り、改善を行うと共に企業側への提案等を行う				3
5					
6					
7					
8					
9					
10					
	合計時間数				330
教科書	KBC学園 就職活動の進め方				
時間外学習	新聞等においてニュース記事の情報収集 研修先業界の最新情報収集				
成績評価方法	コミュニケーション・職業意識・接遇マナー・業界理解の4項目について3段階評価を実施 4項目評価の平均点が2.1～【優】1.1～【良】1【可】 80%以下の出席【不可】				
担当詳細	実務家	備考			
実務経験紹介	各研修企業				